

# 大阪市立大学 第14回教育改革シンポジウム

【全体テーマ】

## 大学院重点化時代の学士課程教育システムを考える ～質の高い教育のためのカリキュラムマネジメントと単位制度実質化

### 「学士課程におけるカリキュラム開発と単位制度実質化 —北海道大学と東京農工大学における理系教育改革の経験から」

小笠原 正明

東京農工大学大学教育センター教授・教育プログラム部門長  
元北海道大学高等教育機能開発総合センター教授・高等教育開発研究部長

### 「大学教育の質保証のための教育システムづくり —単位制度と成績評価」

館 昭

桜美林大学大学院国際学研究科教授  
元大学評価・学位授与機構教授

日時：2007年8月1日(水)午後2時～4時半 (講演+ディスカッション)

場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 高原記念館 1F 学友ホール

司会：西垣順子・飯吉弘子(大学教育研究センター)

大学教育のあり方・教育システム・カリキュラムづくりに理解を深める大変貴重な機会になると存じます。皆さまには、万障お繰り合わせの上、宜しくご参集下さいますようお願い申し上げます。

なお、もちろん当日参加も大歓迎致しますが、準備の都合上、できれば事前に参加人数を把握させていただきたいと存じます。参加を希望される方は、お手数ですが、大阪市立大学大学教育研究センターまで、メールにて氏名・所属・ご連絡先(E-Mail)とともにご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

主催・連絡先：大阪市立大学 大学教育研究センター  
申し込み先メールアドレス：[center@rdhe.osaka-cu.ac.jp](mailto:center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)

Fax : 06-6605-2137

#### 【趣旨】

過去10年、日本の大学でも大学院重点化がすすめられるという趨勢のなかで、本学もその方向を歩んできました。本学理系学部では学部卒業生の大半が大学院に進学するという事態が現実のものとなっており、また、文系学部においてもロースクールなど専門職大学院が新たに設置されています。このような動向のなか、大学院はもとより学士課程教育段階においても、質の高い教育を今後もおこなっていくために、カリキュラムマネジメント・単位の実質化など「大学教育システムの再構築」の必要性が生じてきています。

第14回を数える今回の教育改革シンポジウムでは、この10年の間に北海道大学で実際にカリキュラム改革に携わってこられた小笠原正明先生と、大学評価・学位授与機構および桜美林大学において大学の質保証・学士課程教育の制度改革について研究されてきた館昭先生を講師に迎え、大学の教育システムに関する講演をお願いすることとしました。

科学教育・理工学教育のカリキュラムマネジメント、単位制度の意義と意味、成績評価制度のあり方と教育・学習への影響など、幅広い観点から大学の教育システムのあり方や質保証についてお話しいただく予定です。

個別の科目というとらえ方だけでなく、科目が連携するコースとしてカリキュラムを考えようとした北海道大学の理系教育改革の実践事例から示唆を得るとともに、単位制度とは本来どういう意味や意義を持つものでありそれがどのように運用されてきたのか、また、成績評価の問題も含め教育システム全体として解決しなければならない問題がどこにあるのか等の事項に関して、本学での共通理解を広げ、学内での議論(教育開発的・実務的・実践的議論)を深めていくための素地を作ることを目指しています。